

# 編集方針

本報告書は、九電グループの中長期的なビジョン・戦略や主要施策等を一貫性ある統合化したストーリーとしてご報告するものです。今後も、本報告書に対する皆さまからのご意見を参考にしながら、よりわかりやすい報告書となるよう改善を図ってまいります。

## ●発行時期

2022年9月(次回:2023年9月予定)

## ●報告範囲

九州電力株式会社及びグループ会社

## ●報告期間

2021年4月1日～2022年3月31日  
(現状に即した情報をご提供するため、一部対象期間外の情報も掲載しています。)

## ●参考にしたガイドライン

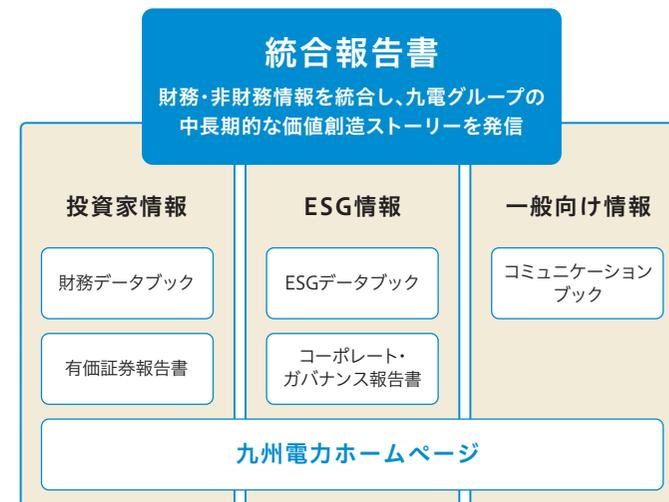
- ・国際統合報告フレームワーク
- ・価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス
- ・気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)
- ・米国サステナビリティ会計基準審議会(SASB)

## ●Webサイトのご紹介

<IR情報(株主・投資家の皆さま)>  
[https://www.kyuden.co.jp/ir\\_index.html](https://www.kyuden.co.jp/ir_index.html)  
より詳細な情報は、当サイトにてご覧いただけます。



## ●情報開示体系



(2020年度まで発行していた「アニュアルレポート」、「サステナビリティ報告書」、「環境データ集」を、2021年度に「統合報告書」と「ESGデータブック」に再編成)

## SRI(社会的責任投資)インデックス組入状況

九州電力は、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)採用指数のうち、以下の2つに組み入れられています。  
・MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数(2022年6月時点)  
・S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数(2022年3月時点)

## SDGsへの対応

九電グループは、SDGsの達成に貢献していきます。

## SDGs(Sustainable Development Goals)

2015年に国連サミットで採択された、国際社会全体の「持続可能な開発目標」であり、2030年を期限とする17の目標で構成されています。



## 見直しに関する注意事項

本報告書中で述べられている九電グループの戦略や見直しなど、将来の事項に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた九電グループの仮定及び判断に基づく将来の予想に関する記述であり、実際の結果を保障するものではありません。様々な不確実性により実際の業績、経営結果はこれらの記述とは異なる可能性があります。株主・投資家の皆さまにおかれましては、本報告書に含まれます将来の見直しのみを根拠として投資判断をすることに対しては十分ご注意くださいようお願い申し上げます。